

(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

## 塩竈市立第一中学校

### ○ 私たちの取組

#### 地域に広がる「あいさつの輪」

### ○ 取組の紹介

塩竈市立第一中学校では、本校の学区にある第一小学校と第二小学校を訪問し、合同であいさつ運動をしています。

朝元気に校庭で遊ぶ小学生、学校の周りを通る地域の方々、たった30分の間にたくさんの方々とあいさつを交わすことができ、お互いに元気をもらっているような気がします。

日々の積み重ねが地域の輪をつくるのだと実感しています。これからも小学校と連携し、地域全体にあいさつの輪を広げ、地域社会を担う人になれるように「凡事徹底」であいさつを大切にしていきます。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

## 塩竈市立第一中学校

### ○ 私たちの取組

#### 小中をつなぐ架け橋「中学生に聞いてみる会」

### ○ 取組の紹介

私たちの学校では「小中連携」を大切にしています。特に中学校への入学を控えた小学6年生は、期待とともに不安を抱いている人もいると思います。そこで私たち中学生が、小学6年生の不安を少しでも少なくするために企画したのが「中学生に聞いてみる会」です。「中学校の学習は大変ですか?」「部活動はどうやって選べばよいですか?」「うしおの光学習発表会ではどんなことを発表するのですか?」と、たくさん質問を小学生からしてもらい、中学生が1つ1つ丁寧に答えることで絆が深まっていくと考えています。中学校への入学が楽しみになるよう願いを込めた企画です。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校作り」の取組

塩竈市立第二中学校

○私たちの取り組み

小学校でのあいさつ運動

○取組の紹介

塩竈第二中学校の生徒会執行部では月に2回、小学校でのあいさつ運動を小学生の皆さんと一緒にしています。小学生の皆さんは元気にあいさつをしてくれるので、こちらも嬉しい気持ちになります。小学生と交流することで中学校に入学してきた時にもコミュニケーションがとりやすいです。あいさつを通じて少しでも雰囲気明るくし、行きたくなる学校になればいいなと思っています。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

## 塩竈市立第三中学校

### ○ 私たちの取組

小・中合同あいさつ運動

### ○ 取組の紹介

私たちの学校では、年間を通して朝のあいさつ運動を行っています。毎朝、生徒会役員や専門委員長が昇降口に立ち、登校してくる生徒や先生方にあいさつをしています。私たちが心掛けていることは、「笑顔で」、「元気に」、「相手を見て」あいさつをすることです。そのようなあいさつをし合うことで、お互いに認め合う関係をつくり、安心して過ごせる学校にすることを目指しています。

さらに、毎月、第三小学校に出向き、一緒にあいさつ運動を行っています。小学生と中学生の交流の場とすることで、中学校入学時の不安感をなくし、同じ地域の仲間として温かいつながりを作りたいと考えています。

この取組を通して、私たちは、「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」を広げています。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

塩竈市立第三中学校

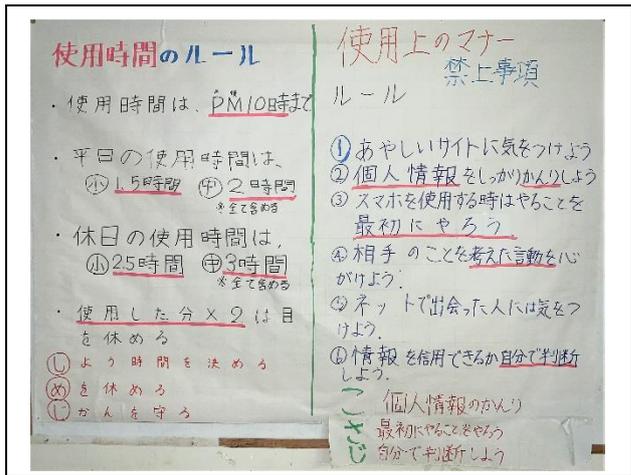
○ 私たちの取組

「メディア・スマホ自主ルール」

○ 取組の紹介

私たちは、塩竈市児童生徒健全育成ボランティア「アルカス☆塩釜☆」の取組として、「メディア・スマホ依存」の問題の解決に取り組んでいます。中学校区ごとに自主ルールを作成し、共通のスローガンのもとで1年間活動し、その成果と課題を検証し、改善につなげていく取組です。

今年の目標は、「『2時間以上使用』の割合を、小学校で15%、中学校で37%にする。」です。そのために、使用時間のルールその他、**【こ】**、**【さ】**、**【じ】**という合言葉で使用上のマナーを呼び掛けています。スマホの間違った使い方や、SNS上のやりとりが原因で、人間関係の悪化やいじめに発展するケースも少なくありません。相手のことを考えた使い方についてみんなで考え、「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」を小学校と一緒に進めていきたいと思っています。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

塩竈市立玉川中学校

○ 私たちの取組

小中合同あいさつ運動

○ 取組の紹介

玉川中学校生徒会では、「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組として、あいさつ運動を実施しました。お互いに明るいあいさつを交わすことで、朝からさわやかな気持ちで学校生活を送ることができます。また、相手とコミュニケーションがしやすくなって仲間意識が高まり、学校全体で楽しい、行きたくなる学校づくりができると考えました。朝の登校時間に合わせて、20分間、校門前であいさつ運動を行いました。登校中の小学生や地域のみなさんにも元気よくあいさつをします。生徒会執行部が中心となって、年間の計画を立て、委員会や部活動ごとに一週間交替で実施しました。また、今年度は玉川小学校、月見ヶ丘小学校に赴き、小学校の計画委員の児童と一緒に、小中合同のあいさつ運動を行いました。取組の成果は、仲間との絆がさらに深まったことです。来年度も続けていきたいと思いません。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

塩竈市立玉川中学校

○ 私たちの取組

SSプロジェクト

○ 取組の紹介

玉川中学校では、次年度玉川中学校に入学する玉川小学校、月見ヶ丘小学校の6年生に向けて授業・部活動体験を行います。そこで、玉川中学校生徒会では、「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組として『尊敬される先輩になろうプロジェクト(SSプロジェクト)』を実施しました。生徒会執行部、各部活動の部長が中心となり、小学生は部活動の楽しさを感じて中学校生活への希望が持てるように、中学生は先輩としての自覚を持ち、玉川中学校を誇りに思っ生活できるようにポスター制作や企画に取り組みました。取組の成果として、小学生から「部活動ポスターを見ると、どの部活動も楽しそうで、やってみたく感じた」「部活動体験では、先輩が優しくて安心した」中学生から「部活動の仲間と協力して取り組めた」「尊敬される先輩になれるように頑張りたい」という感想があげられました。



## (様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

### 塩竈市立浦戸中学校

#### ○ 私たちの取組

読み聞かせ

#### ○ 取組の紹介

毎月1回朝の活動の時間に、小学6年生と中学生が小学1～5年生を対象に絵本の読み聞かせを行っています。前日までにグループごとに聞いてもらう学年に合わせた内容と約10分で読み終える本を選んでいきます。聞いてもらう下級生に絵を見せながら読むのはとても難しいですが、できるだけ集中して聞いてもらえるように練習しています。下級生は私たち上級生に読んでもらう絵本をとても楽しみにしてくれています。小学生に本を読んであげて喜んでもらえるとてもうれしいです。

普段、小学生と中学生が交流を深める機会が少ないため、異学年を通じて仲良く会話をしながら進めることができました。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

## 塩竈市立浦戸中学校

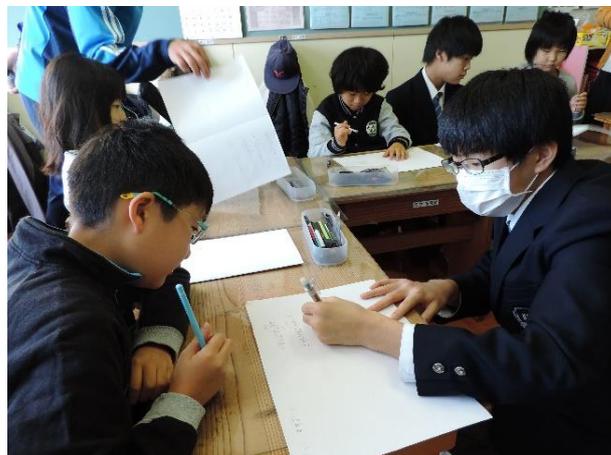
### ○ 私たちの取組

ふれあい遊び ふれあい学び

### ○ 取組の紹介

毎月1回朝の活動の時間に小中学生で遊びや学習を行っています。ふれあい遊びは、小学生と中学生が縦割り班などのチーム対抗リレー、伝言ゲーム、ドッジボールなどの活動を行っています。ふれあい学びは、小学校の先生が選んだ国語や算数の問題を中学生が事前に解いておき、小学生が分からないところを教える活動です。

毎回振り返りを行うことで反省点を改善しながら活動を進めることができました。また、ふれあい学びでは、個別に中学生が教えることで分からないところも「分かった。」「できた。」と言ってもらえるとうれしいです。





(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

## 名取市立みどり台中学校

### ○ 私たちの取組

あいさつ運動

### ○ 取組の紹介

私たちの学校では様々な委員会や部活動が1日の始まりが気持ちよくきれいな環境になるよう、あいさつ運動を行っています。そのため、みどり台中学校はあいさつと笑顔があふれる明るい学校になってきています。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

## 名取市立みどり台中学校

### ○ 私たちの取組

生徒会アンケート・新聞

### ○ 取組の紹介

生徒会新聞は生徒会役員が制作して全校生徒に配布しています。この新聞を編集するにあたって、生徒会ではアンケートを実施しています。アンケートには「好きなラーメンの味」など楽しい質問も加え、学校生活で困っていることはないかなど、学校生活の改善点を見付けるための質問をし、学校をよりよくするために努めています。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

名取市立関上小中学校

○ 私たちの取組

あいさつ運動

○ 取組の紹介

<実施内容>

朝 昇降口前で、児童生徒、先生方へ向けて、あいさつを行っています。  
月・水・金 / 児童生徒会執行部  
火・木 / 5～9年の学級委員

<成果>

○初めのうちはあいさつを返してくれる人が少なかったのですが、だんだんと増えてきて、さらに自分からあいさつをしてくれるようになりました。

○朝の時間以外でも廊下で忘れ物した時にあいさつをしてくれる人がいます。

これから活動をつなげ、今よりもっと明るいあいさつのとびかう学校にしたいです。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

名取市立関上小中学校

○ 私たちの取組

たてわり活動

○ 取組の紹介

<実施内容>

1～9年の全学年が主に4つのグループに分かれ、活動する時間があり、他学年の児童生徒との交流を探めています。

【運動会】

○ 期部毎の種目

○ 1～9年生がバトンをつなぐ選抜リレー

【全校遠足】

○ 移動中の下級生へのお世話

○ たてわりグループ毎の昼食

<成果>

○ 学年の壁を超えて関わりが増えた。

(廊下でのあいさつや会話など)



## 多賀城市立高崎中学校

### ○ 私たちの取組

『心の青空キャンペーン』

### ○ 取組の紹介

この活動は多賀城市のPTA 連合と連携しながら行った活動です。スマホや SNS を正しく安全に利用できるようにするために多賀城市 PTA 連合からスマホに関する提言が出ました。いじめの原因にもなりやすいスマホを正しく使用するという事は、心も体も健康になると考えました。そこで、生徒会でも協力しようということで『心の青空キャンペーン』と名付け署名運動を始めました。

このスマホに関する提言を生徒会執行部から昼の放送や生徒総会などで紹介し、この活動に賛同してくれる生徒に署名活動を行いました。最終的には200名近くの署名を集めることができました。

#### 成果

- ・多くの生徒に署名に参加してもらうことができた。
- ・スマホ使用について考えるきっかけになった。



## (様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

多賀城市立多賀城中学校

### ○私たちの取組

#### あいさつ運動

- ・生徒会員によるあいさつ運動
- ・生徒会執行部によるあいさつ運動（あいさつDay）

### ○取組の紹介

- ・生徒会員によるあいさつ運動

あいさつ運動は、朝の登校時間に、当番の部活動や委員会が、登校して来る生徒にあいさつをします。多中では、爽やかなあいさつが行き交う学校を目指しています。

- ・生徒会執行部によるあいさつ運動（あいさつDay）

本校では、平成30年度にいじめ防止を目的とした「多中っ子宣言」を作りました。毎週水曜日の昼休みに生徒会執行部が「多中っ子宣言」が描かれた旗を持ち、校内をあいさつしながらいじめ撲滅を呼びかけて歩いています。また今年度は、小学校に出向いてのあいさつ運動も実施しました。



## (様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

多賀城市立第二中学校

### ○ 私たちの取組

「ありがとう運動」を作成し、掲示する。全校生徒が書き込める形にする。

### ○ 取組の紹介

- ・ 学校生活で感じた感謝の気持ちを、「ありがとう運動」のスペースに書き込ませる。
- ・ 2～3か月ごとに用紙を変え、その時期に合った掲示物を作製する。(桜、お祭りの提灯、お月見の団子、雪だるま、など)
- ・ 全校集会で「ありがとう運動」について知らせたり、職員室前に掲示して誰でも気軽に書き込めるよう工夫したりと全校生徒が気軽に取り組めるよう工夫した。
- ・ 生徒に関する、日々の何気ない活躍がアピールされる。



## (様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

### 多賀城市立東豊中学校

#### ○ 私たちの取組

小学校とのつながりを生かした挨拶運動

#### ○ 取組の紹介

この取組の良いところは、小学生と中学生がコミュニケーションを気軽に取れるところだけでなく、お互いに挨拶の習慣が身に付き、心を開くことができる環境づくりにつながるということです。また、小学生が中学校に入学した時に挨拶の習慣が身に付いていれば、より良い学校になっていくと思います。私たちは、このような目的を持ち、笑顔で大きな声で挨拶運動をすることや、小学生とできるだけコミュニケーションをとることなどのルールを決めて取り組みました。

活動の結果、はじめはあまり挨拶を返してくれなかった児童も、笑顔で挨拶を返してくれるようになりました。これからも小学校と中学校で協力し合いながら「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組をしていきたいと思っています。



○ 私たちの取組

生徒の実態に即したあいさつ運動

○ 取組の紹介

昨年度から、「分け隔てなくあいさつができる学校」を目指し

昨年度のあいさつ運動を振り返り、課題となるところを生徒会執行部を中心に出し合いました。

…「あいさつを返してくれる人が固定化している。」「あいさつの声が小さいなど」が課題

それを基に ①スケッチブックにあいさつに関するメッセージを書き持ちながら

②通る一人一人の名前を呼びながら

③「朝ご飯何食べた？」などの声かけも含め あいさつ運動を行いました。



<成果>

- ・あいさつを返してくれる人が増えた。
- ・廊下ですれ違った時にあいさつをする人が増えた。

<課題>

- ・あいさつを返してくれない人が固定化されている。  
…生徒会執行部が名前を呼んでも無視をする生徒もごく少数だが存在する。
- ・生徒一人一人にあいさつの習慣を付けることが大切だと思います。  
⇒今後も継続していきます。



## (様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

岩沼市立岩沼北中学校

### ○ 私たちの取組

北中あいさつ運動

### ○ 取組の紹介

- ・生徒会執行部が毎週あいさつ運動を行いました。はじめは、積極的にあいさつを返してくれる人が少なかったのですが、最近では全学年であいさつを返してくれるようになり、学校内でもあいさつが増えたように感じます。朝の時間は、毎日校長先生が校門に立ってくださっており、生徒のみならず北中全員がチームとなって取り組んでいます。また、委員会活動では生活委員会と、JRC委員会が学年ごと、曜日を決めて昇降口前であいさつ運動と花壇への水やりを欠かさず行っています。「誰かがやればいい」ではなく、「みんなでやる」という気持ちをつくり、北中ではいじめを生まない学校づくりに励んでいます。今年度だけにならず、来年も継続し、さらに活性化できるよう、努力していきたいです。

北中あいさつ運動のようす（執行部と校長先生）



## (様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

岩沼市立岩沼北中学校

### ○ 私たちの取組

北中アルカス隊（北中奉仕作業の実施）

### ○ 取組の紹介

- ・北中では、「北中アルカス隊」を結成し、奉仕作業に取り組んでいます。生徒会執行部が月に2回行っている地域奉仕作業、年間8回行っている全校奉仕作業、3年生を中心に行っている放課後奉仕活動です。私たちの母校である北中をきれいにし、過ごしやすい環境を私たちの手でつくることで、ものを大切にする心を養い、そこで生活するかけがえのない友人を大切にする心を育てています。



地域奉仕作業（執行部）



全校奉仕作業（花植え）



放課後奉仕作業（3年生）

(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

岩沼市立玉浦中学校

○ 私たちの取組

全校生徒によるレクリエーションの実施

○ 取組の紹介

今年度の秋に、生徒会主催で「全校レクリエーション」を開催しました。昨年度から企画し、検討を重ねながら、準備を進めてきました。先生方との日程調整の結果、生徒会行事として実施することができました。内容は、借り物競走ならぬ「借り人競走」として、全校生徒を縦割りにしたグループ対抗で行いました。走者がくじを引き、引いたくじに書かれた題に合った人を探して見つけ、一緒に手をつないでゴールに向かうというものです。題は「髪を結んでいる人」や「7月生まれの人」などです。学年の枠を越えて、普段ならあまり接点のない人とも関わりをもつことができ、「楽しかった」という声を聞くことができました。今回のレクリエーションを通して、生徒同士のつながりを深めることができました。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

岩沼市立玉浦中学校

○ 私たちの取組

毎朝のあいさつ運動

○ 取組の紹介

毎週月・水・金曜日に、生徒会役員が朝のあいさつ運動を行っています。写真のように昇降口前と正門から昇降口までの通路に分かれて活動しています。笑顔で自然なあいさつの輪が広がるよう、継続している活動です。3学期には、生徒会役員だけでなく、毎週火・木曜日に週替わりで各委員会に協力してもらい、あいさつ運動を行っています。その結果、多くの生徒があいさつ運動に関わるようになったことに加え、毎日あいさつ運動を行えるようになりました。この運動をきっかけにして、玉中全体の雰囲気がいよよくなってほしいと思っています。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたいなる学校づくり」の取組

## 岩沼市立岩沼西中学校

### ○ 私たちの取組

- ・ 小・中・高連携のあいさつ運動
- ・ PTA いじめ防止標語コンテストに全校生徒で応募（校内の全ての階段に掲示）

### ○ 取組の紹介

- ・ 通学路において地域の方々・岩沼西小・岩沼西中・名取高校の有志児童・生徒で月2日間、あいさつ運動を行っている。岩沼警察署とも連携し、交通安全・犯罪防止・いじめを生まない学校づくりを目指して取り組んでいる。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

## 富谷市立富谷中学校

### ○ 私たちの取組

いじめ防止標語コンクール

### ○ 取組の紹介

目的：いじめをなくし、いじめについて考えるきっかけを作る。

ひとりで抱え込むことなく、いじめやからかいのない安心して生活できる学校にする。

方法：・生活委員による取り組み。

- ・全校生徒にいじめに関する標語を考えてもらう。
- ・生活委員と先生方で、生活委員長賞や各先生賞を選ぶ。
- ・昇降口に掲示し、見てもらうことで一人ひとりの意識を変え、いじめられている人を守る勇気をもったり、いじめ防止に努めたりする。

成果：変化は目に見えにくいけれど、掲示をすることで、いじめは身近に起こりうるものであると意識することができた。



○ 私たちの取り組み

朝の挨拶運動・挨拶隊の活動

○ 取り組みの紹介

富谷第二中学校では、これまでも朝の挨拶運動を行ってきました。朝から挨拶が元気よく交わされることにより、明るい雰囲気が作られたり、コミュニケーションが生まれたりすることで、通いたくなる学校、いじめが起きない、いじめを起こさない学校になると考えたからです。これまで、挨拶運動は部活動毎や学級毎にローテーションしながら行われてきましたが、今年度1月より、挨拶運動をより活性化するために、新たに「挨拶隊」を創設しました。これは、朝の挨拶運動に定期的に参加するボランティア団体で、募集に対して自主的に集まった生徒で構成されています。これまでの挨拶運動は全員参加型の挨拶運動で、生徒会の全員が参加するというメリットがありました。しかし、希に自主性や積極性が感じられない場面もありました。これでは学校の雰囲気を良くすることはできないのではないかと生徒会執行部で考えた末、ローテーションで行われる挨拶運動に加えて、「挨拶隊」を創設するに至りました。「挨拶隊」のねらいの1つは、やらされていた挨拶運動から、進んで行う挨拶運動へと変化させていくことです。「挨拶隊」は、挨拶を活性化し、学校をより良いものにしていきたいという意思のある生徒で構成されています。また、ただ朝に並んで挨拶をするだけでなく、挨拶を活性化させるにはどうすればよいか、生徒会執行部だけでなく「挨拶隊」のメンバーからの意見も取り入れながら工夫して活動をしています。「挨拶隊」を組織した後、活動を見た生徒が入隊を希望するということもあり、今後挨拶運動はより活性化していくものと考えています。



挨拶隊集合写真

○ 私達の取り組み

生徒会行事

○ 取り組みの紹介

富谷第二中学校には生徒会行事があります。この生徒会行事のねらいに、「学年をこえた集団で行事に取り組むことにより、先輩、後輩間の人間関係を深めさせる。」「生徒会が企画・運営する活動を通して、全校生徒を牽引するリーダーの育成を図る。」というものがあります。生徒会行事は、生徒会執行部が中心となり、各クラスの学級委員と連携をとりながら、企画・運営を行う縦割りの行事で、3つの競技を行います。また、事前に縦割り毎の決起集会があり、その中で学級委員が中心となって、競技内容の説明や当日のための作戦会議を行います。他学年との交流する機会を作ることで、先輩や後輩であっても、見たことがある、知っている、話したことがある人間関係が増えることや、学級委員が中心となって活動を行う中で、学級の団結力が深まってい



競技の様子



開会式の様子

くことが期待できます。また、生徒の力で1つの行事を企画・運営していくことが、自己決定の場になったり、様々な生徒の活躍の場にもなったりするため、生徒の自己有用感や自己肯定感、学校や学級に対する所属感を高めることができるのではないかと考えています。これまで、生徒会行事では、体育祭で行うような競技や、ゲーム性の高い競技が実施されていましたが、次年度の生徒会活動では、生徒間の交流や協力、心の成長により強くスポットを当てられるよう、現在、生徒会執行部と企画案を練っています。

## (様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

富谷市立東向陽台中学校

### ○ 私たちの取組

「プラスの言葉」活動の新入生への紹介

### ○ 取組の紹介

新入生に本校で取り組んでいる内容を知ってもらうために、新入生説明会において以下の活動を紹介した。

本校では、いじめを生まない学校・いじめが起きても、見て見ぬふりをせず、止められる学校を作るために、言われて嬉しくなるような言葉（プラスの言葉）を全校に広める、「プラスの言葉キャンペーン」という活動を行っています。詳細内容は以下の通りです。

- ① 毎月1つずつ「いいね」「ありがとう」などの前向きで、言われて嬉しくなるような言葉を書いたポスターを各クラスに掲示した。
- ② 廊下や多目的ホールに、模造紙とハート型の紙を用意し、生徒にプラスの言葉を書いてもらい掲示した。



## (様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

富谷市立東向陽台中学校

### ○ 私たちの取組

あいさつによる明るい学校づくり運動

### ○ 取組の紹介

本校では、小学生に「あんな中学生がいる学校に行ってみたい。」と思えるように、朝、小学生の通学路に立ち、あいさつ運動を行っております。通学途中の小学生はもちろん、中学生にも明るく元気な挨拶をします。この運動により、地域の児童・生徒を笑顔にし、行きたくなるような学校を目指して取り組んでいます。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

富谷市立日吉台中学校

○ 私たちの取組

いじめゼロ CM 作品コンクール

○ 取組の紹介

「見て見ぬふりをしない心を持つ」

「助ける勇気をもつ」

これらを意識し、全員が安心して学校生活を送れることを目指していじめ防止のCMを作成した。作品は生徒会役員が企画・構成し、出演者を全校から募ることにより、全校生徒のいじめに対する意識を高めるように工夫した。完成したCMは、みやぎ小・中学生いじめゼロCMコンクールへ出品した。制作したCM作品を全校集会で上映し、全校生徒へいじめ防止を訴えた。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

富谷市立成田中学校

○私たちの取り組み

「楽しい成中・ワクワクする成中 ～全校生徒が認め合い、進んで行動や発信をしていこう～」

○取組の紹介

1. あいさつ運動

多くの学校で行われているあいさつ運動。成田中学校では、『あいさつは 目を見て 笑顔で さわやかに プラス 自分から』をスローガンにし、これまで以下の方法で行ってきた。

→ 生活委員による火・金のあいさつ運動の実施 8:00～8:10

※今年度に入り、話し合いの結果、「あいさつは自分達で前向きに進んでやるもの。朝のあいさつが元気な生徒会活動につながる。」という考え方に変わり始める。

(現在)

① 部活動の有志による、8:00～8:10の昇降口でのあいさつ運動がスタート。

今では部活、委員会、クラスメート、50～100人弱の生徒が自然と昇降口に集まってあいさつを交わしている。

② 学級でのあいさつ運動のスタート

生徒会執行部を中心に月曜日と金曜日に学級ごとにあいさつが始まる。

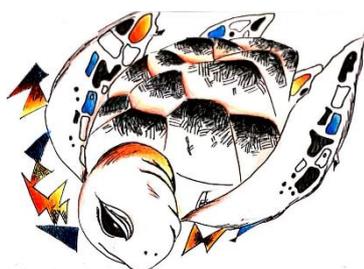
③ あいさつシール作戦スタート

水曜日のあいさつ運動に参加した生徒が一人一枚直径1cmの円形シールを受け取り、生徒会が制作した大きな絵の色付けを行い絵を完成させようとするプロジェクト。また、水曜日のあいさつ運動に合計5回参加した生徒には缶バッジをプレゼント。

※缶バッジ：全校生徒でカメコン（カメのイラストコンクール）を実施、最優秀賞の生徒の作品がバッジになった。

あいさつが得意で声を出す生徒もいれば、絵を描くのが得意な生徒もいる。全員の個性を認め合い、高め合うような学校づくり。→いじめのない学校へ

【左から あいさつ運動の様子・缶バッジ・シール作戦】





## 様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

富谷市立成田中学校

### ○私たちの取り組み

「楽しい成中・ワクワクする成中 ～全校生徒が認め合い、進んで行動や発信をしていこう～」

### ○取組の紹介

#### 3. 生徒集会（企画から運営までのすべてを生徒自身で行う。）

全校生徒の個性を認め合い、ワクワクする学校づくりを目指し、生徒会の取組として、月1回のペースで生徒集会を実施している。（時間帯は授業前の20分間か集会時間の50分で実施している。）

#### 【生徒集会の具体的な内容例】

##### ①各委員会からの連絡や報告の場

- ・生活委員によるあいさつの劇とあいさつのトレーニング
- ・給食委員による残食の説明
- ・図書委員のしおりコンクールのプレゼン
- ・福祉委員の募金活動の報告

放送やプリントではなく、直接全校生徒に言葉で伝える経験を積むことで、自分たちの活動に自信が持てるようになってきた。

※一生懸命な仲間には、協力する姿勢。一生懸命な仲間を認め合う姿勢。一生懸命やることの格好良さを伝えたい。

##### ②自分たちの代表が弁論・少年の主張など校外で活動した内容を発表する場

- ・校外での活動の様子を全校生徒に知らせ、発表する生徒にも自信をつけてもらう場。
- ・吹奏楽部によるクリスマスコンサートも行った。

※努力の成果は全校生徒に見せる。それが、頑張る人を増やすきっかけづくりとなる。

##### ③成志会・叫べ！輝く未来

成人式・立志式にならって、自身の夢を全校生徒の前で話す場を設定。「成志会」では、将来の夢について発表。「叫べ！輝く未来」では、大人になるまでに自分が頑張りたいことを、全校生徒に向かって決意表明した。これまでの頑張りで、集会も含め生徒会活動自体が活性化されてきているので、誰一人冷やかすことなく、温かい雰囲気での集会となった。

【左から 執行部によるあいさつの提案 ・ 吹奏楽部によるクリスマスコンサート ・ 成志会】



## 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

### 巨理町立巨理中学校

#### ○ 私たちの取組

##### マナーアップキャンペーン

#### ○ 取組の紹介

巨理中学校では毎年「マナーアップキャンペーン」を実施しており、今年度は4回行いました。このキャンペーンは、あいさつ運動や清掃活動を意識して行うことで、町の方々や他の生徒と積極的に関わり、自分たちができる役割を果たすという活動です。中心的な活動を行ったのは生徒会執行部だけでなく、学級委員会、生活委員会がそれぞれ巨理駅前、消防署前、学校の3ヶ所でのあいさつ運動を行い、挨拶を通して学校、町を明るくする活動を行いました。美化委員会は学校周辺のゴミ拾いや体育館の清掃などを行い、学校を含めた町の景観保護に取り組みました。さらに、巨理中学校だけでなく、巨理町内の学校全体であいさつの意識を高めるために、町内の小中高の学校の代表者が集まり、「わたりこどもサミット」を開きました。そこでは、共通した取り組みを計画し、昨年の10月30日には「全町一斉マナーアップキャンペーン」として、町の方々と一緒に駅前であいさつ運動を行い、町全体へ向けたあいさつの啓発活動をすることができました。これらの活動をすることによって、学校全体のマナーに対する意識が高まり、以前より挨拶を返してくれる人や、思いやりをもって生活できる生徒が多くなりました。また、警察署の方々からもお褒めの言葉を頂いたりすることができるくらい、活発な学校になりました。



## 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

### 巨理町立巨理中学校

#### ○ 私たちの取組

##### サンフラワープロジェクト

#### ○ 取組の紹介

巨理中学校のもう一つの活動として、「サンフラワープロジェクト」に取り組みました。サンフラワープロジェクトとは、「わたりこどもサミット」の活動の一つであり、町内の小中学校、高校でひまわりを育てて、町役場やお店などの前に飾って地域の方々に見ていただく活動です。この活動を6月～8月にかけて行いました。この活動を行う目的としては、町の景観をより良くすること、そして全員が同じ作業に共同で取り組むことで、学校でまとまりをもって生活できるようにすることです。活動の内容は、はじめに学年毎に種を植え、花が咲くまで美化委員会や吹奏楽部などが中心となって水やりを行います。花が咲いたら部活ごとに各箇所に配り、夏休みの間も水やりを行う等お世話をします。ひまわりを育てる作業を部活動ごとに行うことによって、学年の横のつながりだけではなく、縦のつながりも意識しながら、活動することができました。それによって、先輩と後輩の距離をよい形で縮めることにもつながり、チームワークを良くすることにも貢献することができました。この活動を行うことで、大きい学校行事以外では普段なかなか関わりをもちづらい他学年や、あまり話したことのなかった地域の方などとも関わる機会が増え、人の輪が広がったことで、更に明るい学校づくりにつながっています。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

## 亘理町立荒浜中学校

### ○ 私たちの取組

全校生徒での「荒中えんころ」

### ○ 取組の紹介

荒浜中学校では全校生徒で、荒浜で藩政時代から歌い継がれてきた祝い歌「えんころ節」をオリジナルにアレンジし文化祭等での発表を目指して練習しています。その取り組みは、縦割のグループを作り、3年生が中心となって、後輩へ踊りを伝授するというものです。

この取組を通して、学年を超えた人間関係づくりや、全校生徒で一つのことを作り上げることの喜びを経験します。そして全校生徒の一人一人が荒中の一員であることを自覚し、荒中生の一員であることを強く感じる事ができました。

12月には、亘理警察署の出動式に参加して、荒中えんころを披露しました。最後に生徒会長が安全で安心して暮らせる地域社会づくりの実現を目指すことを宣言しました。これからも伝統を引き継ぎ、全校生徒が協力して地域に貢献できる学校にしていきたいと思いを。



(様式) 小学校や地域に広げるいじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

亘理町立吉田中学校

○ 私たちの取組

いじめ防止の標語募集を行い、

○ 取組の紹介

校内いじめ防止標語コンクールを全校生徒対象に行った。全校生徒から集めた標語を生徒会役員が審査し、入選作品を全校生徒の目に留まるよう校内に掲示した。また、いじめ防止標語コンテストにも10人程度の標語を送った。

標語の例

- ・「いじめてない」「いじている」のか分からない  
気づけないのがとても怖い
- ・あなたがきらいなあの子 誰かにとっては大切な子
- ・見てないよ その感覚は 真実か



# 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

巨理町立逢隈中学校

## ○ 私たちの取組 朝のあいさつ運動・マナーアップ運動

### ○ 取組の紹介

朝のあいさつ運動は、生徒会執行部が中心となり行っています。元気に「おはようございます」と声をかけることで、登校したときの気持ちを和ませたり、一日の始まりを元気あるものにすることができると思います。また、生徒会執行部に加え、部活や生活安全委員にも呼びかけ、協力してあいさつ運動を行うことで、生徒全体がこの活動に主体的に取り組むことができているように感じます。写真は学校に掲示しているあいさつ運動当番表です。前日には部長からの声かけをして忘れないように参加する姿勢は、「協力」「コミュニケーション」につながっているように見えますのでこれからも続けていきたいです。

生徒会執行部は、校門前でのあいさつ運動に加え「マナーアップ運動」というものを行っています。これは、月に一回、小学生と一緒にあいさつ運動を行うというものです。写真は、逢隈小学校前で中学生がリーダーシップを取りながら活動している様子です。人通りの多いところに2～3人ずつで担当を決め、地域の方へのあいさつも積極的に行っています。

朝のあいさつ運動やマナーアップ運動を通して、地域や学校が明るくなり「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」にさらにつながっていってくれると思います。



10月 2018年	
1日	職員会議
2日	職員会議
3日	学級の日
4日	児童会総会
5日	生活安全委員
6日	生活安全委員会
7日	休校(祝日)
8日	休校(祝日)
9日	休校(祝日)
10日	休校(祝日)
11日	休校(祝日)
12日	休校(祝日)
13日	休校(祝日)
14日	休校(祝日)
15日	職員会議
16日	職員会議
17日	職員会議
18日	校内各場コンクール
19日	二学期表彰
20日	生活安全委員会
21日	職員会議
22日	職員会議
23日	二学期表彰
24日	二学期表彰
25日	二学期表彰
26日	二学期表彰
27日	二学期表彰
28日	二学期表彰
29日	二学期表彰
30日	二学期表彰

22日	執行部+ソフトボール部
23日	執行部+野球部
24日	執行部+ソフトボール部
25日	執行部+サッカー部
26日	執行部+テニス部
27日	執行部+陸上競技部
28日	執行部+剣道部
29日	執行部+男子卓球部
30日	執行部+女子卓球部
31日	執行部+男子バスケットボール部
	執行部+女子バスケットボール部
	執行部+バレー部
	執行部+吹奏楽部
	執行部+生活安全委員会
	執行部+美術部
	執行部+ソフトボール部

いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

山元町立坂元中学校

○私たちの取組

## ～モーニングプロジェクト～

○取組の紹介

朝自習が始まる前の朝の時間に元気に体を動かして1日を楽しく過ごすために「ハズクラップ」というダンスを踊っています。みんな楽しく参加しているので良い雰囲気です。



「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

山元町立坂元中学校

○私たちの取組

## ～全力校歌プロジェクト～

○取組の紹介

来年度で閉校になってしまう坂中の校歌を大事にしようという意味で昼休みに全力で校歌を歌っています。校歌を大事にしようと元気に歌う生徒がたくさんいてとても良い活動になっています。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

## 山元町立山下中学校

### ○ 私たちの取組

山元町ふれあい産業祭におけるボランティア活動

### ○ 取組の紹介

山元町の大きなイベントである産業祭におけるボランティア活動に取り組んでいます。

- ・ 町の名産であるイチゴやリンゴ等、ホッキ貝の試食提供
- ・ 総合案内
- ・ 各コーナーへの誘導
- ・ 会場内のゴミ拾い
- ・ トイレの管理 等

産業祭には地域の方や小学生も来場し、ボランティアの中学生にたくさん声を掛けてくれるので、良い交流の場となっています。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

松島町立松島中学校

○ 私たちの取組

挨拶運動・ゴミゼロ運動

○ 取組の紹介

松島中学校では登校してくる生徒や先生方に明るく挨拶をすることで、その日1日を気持ち良くスタートして欲しいという思いから、継続して生徒会の生徒と生活委員が朝の挨拶運動を行っている。

また、今年度は挨拶運動と併せて、「ゴミゼロ運動」も行っている。毎月10日は1組、20日は2組、30日は3組といった縦割りで担当して、登校時に通学路上のゴミを拾いながら登校するという活動である。縦割りで活動することで学年を越えた人間関係を築き、また地域で中学生の活動する姿を発信することで、自然と挨拶や人との関わりをもつことができるようになった。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

松島町立松島中学校

○ 私たちの取組

小学校との交流会

○ 取組の紹介

松島中学校では、学校で学んだ防災についての知識を、クイズやカルタといったゲームにして、中学生自ら小学生に伝える「まつしま防災学」を行っている。どのように説明したら小学生にも伝わるかを考えながら、発表の準備を行った。小学生にとっても防災だけではなく、中学校や中学生について知ってもらう機会ともなっている。

また、一日体験入学では、卒業生である1年生の学級に小学生が入り交流会を行った。交流会では勉強や部活動への疑問が小学生から寄せられた。質問に対して、生徒自らがユーモアや、実体験を交えながら答えることで、小学生の緊張を和らげ、中学校への不安感の解消につながった。



## 大和町立大和中学校

### ○ 私たちの取組

あいさつ運動

### ○ 取組の紹介

大和中学校の正門から昇降口までの通路は「あいさつ通り」と呼ばれています。朝、7:55~8:10に行われる「あいさつ運動」は主に生徒会役員が行っています。登校時に明るいあいさつを交わすことで、気持ちよく学校生活に向かうことを目指して取り組んでいます。



# 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

## 大和町立宮床中学校

### ○ 私たちの取組

いじめノックアウト(いじめを生まない学校を目指して)

### ○ 取組の紹介

生徒会執行部の呼び掛けで、いじめを生まない学校にするためにはどうしたらよいかを各学年・各クラスで考えてもらいました。そしてそれをもとに、学級委員が中心となって活動内容を企画し、学級ごとに「いじめを生まない学校」になっていくための活動を行いました。いじめについて話し合いをもってクラスの行動宣言を作ったり、協力して課題を解決することでクラスの団結力を高めたり、お互いの信頼関係を深められるような活動になりました。

### ○ 取組の成果

いじめの問題に一人一人が向き合うことで、真剣に考える時間をもてたということがよかったと思います。

また、それぞれの取組の結果から、これから解決していかなければならない課題も見えてきたので、生徒会執行部として今後がんばって取り組んでいこうと思いました。



# 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

## 大和町立宮床中学校

### ○ 私たちの取組

「意見箱」の設置と意見の収集と共有

### ○ 取組の紹介

執行部が管理、運営をする、全校生徒を対象にした「意見箱」を設置しています。昨年から新しく「Poohさんの HONEY メール」として、Poohさんの意見箱が昇降口で登下校する生徒を見守っています。寄せられた意見に対し、執行部からの「返事」をコルクボードに載せ、執行部と全校生徒との距離を縮める取組を進めています。

ささいなことや言葉ではなかなか言いづらいことなど、もっと気軽に利用してもらえるよう、より身近な生徒会執行部を目指して取り組んでいます。

### ○ 取組の成果

この取組では、執行部と全校生徒との意見の交流を通して、常に執行部が身近な存在として感じてもらうことにつながっていると思います。皆の意見をもとに、これまで以上に宮床中をよりよい充実した学校にしていくために、思いを共有しながら全校生徒で生徒会活動を進めていくことに良い影響を与えていると思います。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

大郷町立大郷中学校

○ 私たちの取組

ボランティア活動

○ 取組の紹介

12月22日(日)に、町の公民館でおにぎりの炊き出しや、施設の飾りつけを行いました。台風で被災した方々のために、友達や先生と協力して活動に取り組むことで、地域の方々も復興のために頑張っていることが分かりました。これからも、私たちにできることを探して、積極的に参加したいと思います。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

## 大衡村立大衡中学校

### ○ 私たちの取組 「あいさつコンテスト」

### ○ 取組の紹介

私たち大衡中学校は朝のあいさつ運動で、あいさつコンテストを行っています。毎朝部活動ごとに昇降口であいさつを行い、どの部がお手本となるあいさつをしているか投票で集計し、表彰します。明るく一日が過ごせるように、どの部も元気にあいさつをしています！



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

## 大衡村立大衡中学校

### ○ 私たちの取組 「衡中フラワー」

### ○ 取組の紹介

「きれいで、行きたくなる学校」になるように、緑化活動に取り組んでいます。通学路や「友情の碑」という衡中のシンボルの場所に、季節ごとに花を植えています。ボランティアで植える人を募集しますが、毎回多くの生徒が参加します。花が咲くのを見ると、とてもうれしい気持ちになります。

